

子ども条例、公契約条例、特別支援学校を視察

議員団では1月22日～24日、東京都豊島区「子どもの権利に関する条例」について、多摩市、川崎市では「公契約条例」の説明を聞き「かわさきエコ暮らし未来館」を見学。9月議会で西宮養護学校の建替えという答弁があったことから小学校を改築した横浜市の特別支援学校を視察しました。

横浜市

横浜市立若葉台特別支援学校は、廃校になった小学校をリニューアルし特別支援学校として新たに開校しました。肢体不自由教育部門では小学校から高等部までの生徒が在籍しています。介助員ではなく教師と子どもがほぼ1対1で配置されていました。

知的障害教育部門は、高等部のみで2013年1期生25名が入学しました。「全員就労」をめざし、ビル清掃、パン工房、印刷等の仕事をしています。地域の人にも利用できるコミュニティルームもあり、地域によく溶け込んでいる印象でした。肢体不自由児と知的障害児の子どもたちの交流時間を設けています。

学校はとても綺麗で新しく建替えかたのかと思う程でした。



子どもたち一人ひとりの身体に合わせた車いす



教師が子どもを抱いて入るので深さがある温水プール

豊島区

子どもの権利に関する条例

豊島区「子どもの権利に関する条例」(抜粋)
あなたの人生の主人公は、あなたです
あなたのことは、あなたが選んで決めることができます失敗しても、やり直せます
.....
あなたがあなたらしく生きていけるように、
いっしょに考えていきましょう
あなたという人は、世界でただ一人しかいません 大切な、大切な存在なのです

豊島区の「青少年問題協議会」で子どもの自立の遅れや社会性の欠如等の問題等が出され、また、いじめ、児童虐待等の問題もあり、何らかの対応ができないかと5年かけて論議。最終的に区長が条例を提案し議会では賛成多数で可決。子どもの自己決定権を大事にしているとの説明でした。



多摩市役所で公契約条例の説明を聞く

多摩市 川崎市

公契約条例について当局から説明を聞きました。「市民が豊かで安心して暮らせる社会につながる」、このことが条例化につながる共通した考えでした。

公契約条例とは？役所が民間企業と契約(工事・委託・指定管理等)する時、その契約で働く人の賃金について、最低賃金を上回る賃金の支払いを独自に義務付けた条例で契約内容が守られているかどうかを役所がチェックする制度